

- 1 実施日時 10月～12月
- 2 実施学年 第4学年
- 3 実施教科 総合的な学習の時間
- 4 単元名 「地域安全マップをつくろう」
- 5 学習の流れ

四小のまわりの危険な場所について調べよう

- 1 学区域を自分たちで実際に見る。
- 2 どんなところが危険と感じたか話し合う。
- 3 まとめたことをもとに気付いたことや考えたことを共有する。

6 Chromebook の活用

- 学区域で危険と感じた場所の写真を chromebook で撮影した。
- Google スライドにまとめ、プレゼンテーションを行った。

7 児童・生徒の様子

学区域における犯罪に遭いやすいかどうかという視点のもと、地域安全マップを作成した。地域を調べる際にはクロムブックを活用して写真に残し、危険な場所や安全な場所について、Google スライドを活用してまとめた。Google スライドを活用することで、同時に作業をすることができ、効率よくスライド作りを進めることができた。しかし、作業の途中でデータが消えてしまうトラブルもあったので、バックアップを毎回残しておくことが重要であると感じた。完成後は3年生に発表する機会を設け、学年を越えた交流をすることができた。

発表における課題としては、写真資料による発表が主だったので、正確な場所のイメージがつかみにくかったようであった。はじめに調べた地域の地図を示すなど、より分かりやすいスライドを提示し、次年度のイメージ作りとなるようできればと考える。



8 振り返り

地域を調べる際にはクロムブックのカメラ機能を活用することで、短時間で記録を残すことができた。Google ドライブに入れることで、写真の共有もスムーズに行うことができた。調べたことをまとめる際にも、Google スライドを活用することで、同時にグループのメンバー全員が作業をすることができ、効率よく作業を進めることができた。アニメーション機能を活用するグループもあり、工夫の幅がかなり広く、意欲的に学習をする児童が多かった。3年生への発表した際にも、「地域の危険な場所がよく分かった。」「クイズやアニメーションなどの工夫があって見ていて楽しかった。」などの3年生の感想を聞いて、活動に対する有用感も感じる事ができていた。クロムブックの操作技術の向上も見られ、今後、他教科での活動にも生かすことができると考えられる。

